

あさひ議会だより

22号

平成23年
9月1日
発行



おもな内容

議案の内容と審査結果	2～4
第2回定例会の日程	3
主な議案質疑	4
請願・陳情の審査結果	4
一般質問	5～9
常任委員会の審査	10
旭市子ども議会	11
議会のうごき	12

第57回旭市七夕市民まつり ～のぼる旭 祈りを込めて～
「七夕市民まつりで息の合ったメロディーを奏でる旭一中ブラスバンド」

東日本大震災被災者支援関連予算等を 可決・承認

第2回定例会のあらまし

平成23年第2回定例会が、6月23日から7月8日までの16日間の会期で開かれました。
この定例会には、平成23年度旭市一般会計補正予算、条例の一部改正、専決処分の承認、人事案件など15議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・承認・同意されました。
6月29・30日、7月1日には一般質問が行われ、14人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

最終日の7月8日には、委員会から2件の発議案が提出され、いずれも全員賛成で原案のとおり可決されました。

議案の内容と審査結果

補正予算

■議案第1号

平成23年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億2,800万円を追加し、予算の総額を306億9,200万円とするもので

す。

歳入の主なものは、災害復旧費国庫補助金7,957万5,000円、土木費県補助金4億3,866万6,000円、繰越金9,538万9,000円で、今回の補正財源として追加するものです。
歳出の主なものは、被災者住宅再建支援事業4億2,825

専決処分

■議案第8号

専決処分の承認について(平成22年度旭市水道事業会計補正予算) (承認)

東日本大震災により被害を受けた水道施設の復旧工事を行う

万円、消防施設災害復旧費1億1,480万3,000円などです。

■議案第9号

専決処分の承認について(平成23年度旭市一般会計補正予算) (承認)

東日本大震災に伴う公共施設等の災害復旧と被災者支援事業

ため、専決処分をしたものです。
収益的支出に8,200万円を増額し、補正後の予定額を15億3,667万5,000円とするものです。

■議案第10号

専決処分の承認について(平成23年度旭市水道事業会計補正予算)

及び災害廃棄物の処理等を早急に行うため、専決処分をしたものです。
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ32億1,400万円を追加し、予算の総額を300億6,400万円とするものです。



第2回定例会の日程

6月23日(木) (開会)

- 人事の紹介
- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上げ
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明及び報告の説明

6月27日(月)

- 議案の質疑
- ◇ 追加日程 <討論・採決>
- 常任委員会へ議案・請願・陳情を付託

6月29日(水)

- 市政に関する一般質問

6月30日(木)

- 市政に関する一般質問

7月1日(金)

- 市政に関する一般質問

7月4日(月)

- 建設経済常任委員会

7月5日(火)

- 文教福祉常任委員会

7月6日(水)

- 総務常任委員会

7月8日(金)

- 常任委員長の議案・請願・陳情報告
<質疑・討論・採決>
 - ◇ 追加日程
 - 発議案の上げ
 - 提案理由の説明
<質疑・討論・採決>
 - 旭市農業委員会委員の推薦
 - 事務報告
- (閉会)



算

(承認)

東日本大震災により被害を受けた水道施設の復旧工事を行うため、専決処分をしたものです。

収益的収入に1,770万9,000円を増額し、補正後の予定額を16億1,802万円とす

るもので、災害臨時損失に係る国庫補助金の増額を見込んだものです。

収益的支出については、1,200万円を増額し、補正後の予定額を14億8,731万4,000円とするもので、被害を受けた水道施設の漏水調査委託費や水道管、配水池修繕費等です。

また、資本的収入に1億3,008万円を増額し、補正後の予定額を2億7,129万7,000円とするもので、災害復旧のための建設改良費に係る企業債及び国庫補助金の増額を見込んだものです。

資本的支出については、1億3,016万1,000円を増額し、補正後の予定額を7億2,381万3,000円とするもので、災害復旧に係る水道管布設替工事費です。

東日本大震災の被災者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例について(旭市)

(承認)

東日本大震災の被災者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例について、専決処分をしたものです。

東日本大震災の被災者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例について(旭市)

■議案第11号

専決処分の承認について(東日本大震災の被災者に対する市民税等の減免の特例に関する条例)

(承認)

東日本大震災の被災者に対する市民税等の減免の特例に関する条例について、専決処分をしたものです。

■議案第12号

専決処分の承認について(東日本大震災の被災者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例)

(承認)

東日本大震災の被災者に対する国民健康保険税の減免の特例に関する条例について、専決処分をしたものです。

■議案第13号

専決処分の承認について(旭市)

税条例の一部を改正する条例

(承認)

地方税法の改正に伴い、専決処分をしたものです。

■議案第14号

専決処分の承認について(旭市介護保険条例の一部を改正する条例)

(承認)

東日本大震災の被災者に係る介護保険料を減免するにあたり専決処分をしたものです。

■議案第15号

専決処分の承認について(旭市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例)

(承認)

一般病床がこれまでの730

そのほかの議案

床から763床に変更となり、本館移転後の5月より病床を使用できるよう、専決処分をしたものです。

■議案第2号

市の区域内の字の区域及び名称の変更について (可決)

人事

■議案第3号

旭市固定資産評価委員の選任につき同意を求めることについて (同意)

現評価員の退任に伴い、後任の評価員を選任するにあたり議会の同意を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。

新任 佐藤 一則氏(飯岡)

■議案第4号・議案第5号・議案第6号

旭市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて (同意)



被災した干潟中学校プール

現委員の任期が来る8月18日をもって任期満了となるため、後任の委員を任命するにあたり議会の同意を求めるものです。次の方が全員賛成で同意されました。

再任 高根 雅人氏(ロ)
新任 平野 浩氏(後草)
新任 嶋田 一豊氏(三川)

■議案第7号
旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (同意)

現委員1名の任期が来る8月18日に満了となるため、後任を任命するにあたり、議会の同意を求めるものです。次の方が全員賛成で同意されました。

新任 小倉 和也氏(高生)

委員会提出議案

■発議第1号
義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書の提出について (可決)

■発議第2号
国における平成24年度教育予算拡充に関する意見書の提出について (可決)

報告

■報告第1号
平成22年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書について

■報告第2号
平成22年度旭市一般会計事故繰越繰越計算書について

■報告第3号
平成22年度旭市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

■報告第4号
平成22年度旭市病院事業会計継続費繰越計算書について

■報告第5号
平成22年度旭市病院事業会計予算繰越計算書について

■報告第6号
旭市土地開発公社の事業経営状況について

■報告第7号
財団法人旭市福祉協会の事業経営状況について

■報告第8号
専決処分分の報告について(損害賠償の額の決定)

請願・陳情の審査結果

第2回定例会では、請願2件と陳情1件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区 分	件 名	審査結果
請願第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択を求める請願	採 択
請願第2号	国における平成24(2012)年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願	採 択
陳情第1号	大幅増員と夜勤改善で安全、安心の医療・介護を求める陳情	不採択

主な議案質疑

■議案第8号
Q 今回の専決処分理由をお伺いします。

A 3月11日の大震災により、水道管も大きな被害を受けて断水が数々発生しました。そのような中で、東総広域水道企業団などの応援をいただき、災害の復旧工事を全力で行ってきました。

時間的な余裕がなかったため、急ぎ専決処分をしたものです。

■議案第9号
Q 専決処分の理由は。

A 大震災で、職員一丸となって対応していましたが、国と県の大震災に対する基準が定まっていな中で、次から次へと政策が打ち出され、精査をしながら、復旧をいち早く行うことから、専決処分をしたものです。



議会推薦の農業委員会委員

第2回定例会において、市議会では次の4名の方を農業委員会委員として推薦しました。

- 平山 清海氏
旭市椎名内2913番地
- 浅岡 章氏
旭市大間手875番地
- 石田 興一氏
旭市三川7021番地
- 石井 秀夫氏
旭市萬歳607番地

一般質問

市政に関する一般質問は6月29日・30日・7月1日に行われ、14人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

東日本大震災

復興計画策定の 取り組みは

Q 復興計画策定の事業主体は県なのか市なのか。また、どのように進めていくのか。

A 計画策定は旭市が行うものです。被災地をはじめ有識者、代表の方々による意見交換会を参考にし、復興計画の素案を作成していきたいと思っています。

震災復興計画策定に当たっては、第1に、被災者の生活再建を図ること、第2に、道路等公共施設の復旧による都市基盤の再生、第3に、災害に強い地域

は、第1に、被災者の生活再建を図ること、第2に、道路等公共施設の復旧による都市基盤の再生、第3に、災害に強い地域

は、第1に、被災者の生活再建を図ること、第2に、道路等公共施設の復旧による都市基盤の再生、第3に、災害に強い地域



津波により被災した消防庫

づくり、第4に、地域経済の復興を基本方針として、来年1月完成をめどに取り組んでいく考えです。

津波ハザードマップに 対しての被害実態は

Q 津波ハザードマップは、いつ、何を根拠に作ったのか。また、海岸線に避難場所が指定されているが、そのうち何か所が被害を受けたのか。

A 津波ハザードマップは平成20年1月に元禄津波を参照記録に作成しました。ハザードマップには確かに浸水領域の中に避難所があります。浸水箇所4か所は海岸線の中の避難所です。あとプラスして飯岡小学校の5か所のうちの4か所に浸水がありました。また、そのほかにも飯岡中央保育所なども一時避難所になっています。今後、津波ハザードマップの見直しを考えています。

海岸からの避難路 整備は

Q 海岸から高い場所へ避難するための歩道を設置で

きるような広い道路を考えていかなければならないのでは。

A いろんな機会でも、地元の方々からの話を聞いており、津波のときの避難路が狭いと聞いています。市としても既存の道路を整備しながら、復興計画の中で避難路を明示するようにしていきたいと考えています。

避難所の 非常用電源は

Q 避難所の非常用電源はどのようになっていたのか。

A 避難所になった場所には、非常用電源が設置されています。非常用電源については、各防災倉庫等に保管されています。今後は、震災と同時に配備できると考えています。

海岸、海水の 放射能は

Q 旭市で放射線の暫定基準を超える野菜が出たが、海岸、海水の放射能汚染は大丈夫なのか。

一般質問の質問事項

平野 忠作 議員

- 1 東日本大震災について
- 2 あさひ健康パークゴルフ場について
- 3 食彩の宿いおか荘について

大塚 祐司 議員

- 1 公共事業について
- 2 国保税について
- 3 中央病院について
- 4 震災時の対応について
- 5 議会外での執行部から議員への働きかけについて

林 七巳 議員

- 1 震災復興計画について
- 2 23年度予算見直しについて
- 3 市長・副市長の政治姿勢について
- 4 二元代表制における執行部と議会の関係について

伊藤 保 議員

- 1 復興計画について
- 2 放射能汚染について
- 3 心のケア対策について



旧海上中学校での瓦れき処理

A 5月16、17日の2日間、県内沿岸4地点の沖合い2キロメートルで水を採取して検査し、4地点とも放射能は検出されないと発表されています。

また、6月13、14日、県内18地点の海水浴場で検査が実施され、矢指ヶ浦海水浴場を含む、すべての場所でも未検出という結果が出ています。

災害廃棄物の処理は

Q 震災で発生した瓦れき及びごみの処理状況は。

A 震災で発生した瓦れき及びごみは、市内6か所に約9万5,000トンあり、計

画的に処分しています。各種の廃棄物が混合した状態で搬入されており、資源の有効利用の観点から、できる限り資源化を進めるため、分別作業を実施し、搬出しているところです。順調に進むと、今年度中に完了する見込みです。

災害廃棄物を有効に利用しては

Q 東日本大震災により発生した瓦れきの有効利用について伺います。

A 災害廃棄物については、可能な限り再利用したいと考えています。木くず等は、破碎してボード等の原料、あるいは火力発電の燃料などに利用します。コンクリートがらは、中間処理施設等で再資源化し、道路の路盤材及び構造物等の基礎材として再利用していきたいと考えています。

パークゴルフ場の被害と再開は

Q あさひパークゴルフ場の津波による被害状況と再開の見通しは。



被災したあさひパークゴルフ場

A 津波により被災した施設は、コース内の芝生への土砂等の堆積など、主に六つの施設が大きな被害を受けました。再開の見通しについては、今

回は、土砂等の堆積など、主に六つの施設が大きな被害を受けました。再開の見通しについては、今後は早期復旧に向けて努力していきたいと思っています。

児童・生徒の心のケア対策は

Q 被災した児童・生徒の心のケア対策は現在どのよ

うに行っているのか。

A 被災地域の小・中学校6校に、千葉県のスクールカウンセラー4名が緊急支援として派遣されています。被災児童・生徒へのカウンセリング及び教師への指導・助言も実施しています。

防災拠点としての

新飯岡中を考えると

Q 改築予定の飯岡中学校にについては防災拠点として機能するような設計、例えば、より高層な建物や土台を高く盛るなど、そのほかにも地元住民が避難しやすいような校舎の配置などを考え設計していただきたいが。

A 新しい飯岡中学校の基本設計が終わり、四つの基本方針を立てました。その中の一つに、災害に強く環境を考慮した校舎というコンセプトを挙げました。この学校は、災害時避難所に指定されると思います。今回の震災を踏まえ、考え直したのは、緊急時には屋上を開放できるような設計を実施設計の中で考えていきたいと思っています。現在、2階建ての校舎

飯嶋 正利 議員

- 1 震災後の農業振興について
- 2 商工業の復興、再生について
- 3 現在進んでいる公共事業、新規事業について
- 4 ハザードマップについて

島田 和雄 議員

- 1 災害に強いまちづくり
- 2 保育園、小中学校での地震時の対応と今後の課題
- 3 ガレキの処理について
- 4 義援金受付終了後のふるさと納税について
- 5 地震で仕事を失った人への対応は
- 6 早急な復旧工事を
- 7 被災記録を後世に残す考えは

伊藤 房代 議員

- 1 被災者対策について
- 2 放射能対策について
- 3 高齢者の地域連係について
- 4 休耕田対策について

滑川 公英 議員

- 1 東日本大震災後の復旧、復興計画について
- 2 風評被害の発生と蔓延につ

を想定しています。

農業再生の振興策は

Q 震災で数十億円に上る農業被害がありました。今後の再生についての振興策をどのように考えているのか。

A 県が単独事業で施設園芸の災害復旧支援事業を立ち上げました。県単独で2分の1支援し、事業費は1億円です。単なる復旧ではなく復興に向けて、この事業を有効的に使っていたら、農業者の方に支援策を図りたいと考えています。

Q 農用地の被害に対し、今後の対策、支援策は

A 塩害、液状化による農業被害に対する今後の対応、

支援についてどのように考えているのか。

A 塩害、塩水が入ったとか、液状化で農地に段差ができたなど、いろいろな形で農地の被害が出ています。

今後は、塩分の除去等に努めていくため、パイプライン等の施設関係の復旧が第一と考えています。農地の用排水、あるいはパイプラインの復旧については、市単独で支援策もつくり、早期復旧に向けて現在行っているところです。

被災者に対しての市営住宅建設計画は

Q 被災者が困らないように公営住宅建設の計画が考えられるか。



仮設住宅に設置された緑のカーテン

A 仮設住宅に入っている方々があと2年間で、最終的に住宅がないといった場合には、市営住宅のことも十分考えなければならぬと思っています。

災害関連予算の一般財源額は

Q 復興に要する市の持ち出し金はどうのくらいで、財源はどのように確保するのか。

A 一般財源は12億6,838万6,000円で、平成22年度分の留保、平成23年度への繰越金ですべて一般財源は手当てしています。

そのほかの財源ですが、国庫補助金、県支出金、起債という形で、現在、災害関連で組んだものは手当てしている状況です。

補正予算の編成方法は

Q 災害だからということですが、県の交付決定通知書がない中で予算を組んだのではないか。

A 県から交付決定通知書は来ていません。しかし、

災害救助法第44条に救助を必要とする者の現在地の市町村が、救助の実施に要する費用を予算を組んで実施しなければいけないと書かれています。

少し遅れて、県の健康福祉部長から通知があり、内容は「救助費用の負担については、貴職（旭市）において繰り替え支弁することとなっておりますので、当該費用の支弁に支障のないように必要な予算措置を講じてください。なお、この一時繰り替え支弁された費用は、県が負担することとなる」と書かれています。

市民体育祭見直しの考えは

Q 今回は震災の影響から、11月に予定されている市民体育祭についても見直していただければ。

A 今年は震災が発生した中で、旭市がどれだけ復興できるのか、スポーツにかけてみんなの気持ちを奮い立たせる、そういった思いの中で、実行委員会の決定に賛成したいと考えています。

いて

3 電力危機による夏の節電対策は

4 公共施設の非常用電源は

木内 欽市 議員

1 震災後の対応について

2 行事、事業の見直しの考えは

3 今後の市政運営について

佐久間 茂樹 議員

1 津波警報のあり方について

2 福島原発事故に関して食彩の宿いおか荘について

3 食彩の宿いおか荘について

4 ごみ処理と最終処分場について

5 仮設住宅について

日下 昭治 議員

1 東日本大震災について

2 広原地区の排水計画

3 環境シンフォニックについて

4 市長の政治姿勢

向後 悦世 議員

1 東日本大震災後の対応について

2 災害見舞金等について

3 公共施設の被害について

ボランティア活動を効果的に行う考えは

Q 市長はボランティアに対して、より効果的な活動ができるように考えたことはあるのか。

A 災害当初は大勢のボランティアの方が旭市にお見えになり、なかなか受付がスムーズにできず、特に保険の問題あるいはグループでの行動という関係があり、それが今回の反省点であると思います。

今後、ボランティア活動については、社会福祉協議会等と連携を図りながら、スムーズなボランティア活動ができるように



飯岡刑部岬展望館でのチャリティコンサート

検討していききたいと思っています。

工場、店舗等の被災に對しての助成制度を

Q 岩手県では震災で被害を受けた工場や店舗の修理に直接補助する制度を始めました。修理費の2分の1以内で工場2,000万円、店舗200万円を上限に助成を行います。

旭市でも、千葉県と協力しながら助成制度を創設するように願います。

A 今後、県にこのような制度について協議及び検討していききたいと思っています。

住宅リフォーム制度導入の考えは

Q 今回の大震災で、多くの住宅が被害を受けました。被災した住宅の快適性は失われ、修理されないまま住み続けるのは精神的にも苦痛が伴います。

住宅リフォーム助成が制度化されていれば、行政が被害者を大切に温かく見守ってくれているというメッセージを届けることができます。

また、被災地における仕事起



津波で被害のあった飯岡地区

こしに大きな効果があるので、ぜひ制度の導入を検討していただきたいが。

A 住宅改修に伴う住宅支援策の一環として利子補給（上限2%を補助し、5年間）を行う予定で、今議会に提案しています。仮に200万円の融資を受けた場合は、5年間で換算すると約20万円の利子補給になります。

これらを受付していく段階において、耐震改修の補助と併せてリフォームの制度化について検討していききたいと思っています。

公共施設の節電対策は

Q 市の公共施設の夏の節電対策はどのようなものになっているのか。

A 市では、従来のクールビズより涼しいカジュアルな服装での公務を認め、実施期間も例年よりも2か月長い、5月から10月としました。公共施設内の温度も28度に設定し、事務室内の照明も、各課ごとに半分を消灯または蛍光灯を取り外すなどしています。社会体育施設も、エアコン、エレベーター、自動ドア等について、利用者に不便を来たさない程度の使用とし、節電対策を実施しています。

公共工事

1平方メートル当たりの用地取得費は

Q 文化の杜公園、谷丁場遊三川蛇園線、旭中央病院アクセス道、南堀之内バイパスの1平方メートル当たりの用地取得費は。

A 文化の杜公園は約1万5,717円。谷丁場遊正線は約1万5,457円。飯岡海上連絡道三川蛇園線は約6,600円。旭中央病院アクセス道は約1万9,000円。南堀之

4 災害ゴミの処理について
5 今後の災害復興について
6 飯岡中学校建設について

高橋利彦 議員

1 塵処理施設裁判と旧千潟町長への請求について
2 旭市はなぜ銚子市の格下か
3 防災、災害問題について
4 災害問題について

太田将範 議員

1 市税の減免
2 地場産業の復興支援
3 住宅の復興支援
4 市長の政治姿勢について

内バイパスは約3,100円で

庁舎

庁舎建設費は

Q 市としては、市庁舎の建設費を1平方メートル当たり25万円以下で抑えるつもりがあるのか。

A 計画は白紙であり、建設費についても検討は加えていません。

情報

情報提供の
プロセスは

Q 議員から担当課へ請求した情報の開示に関する可否決定、どのようなプロセスを経てなされているのか。

A 議員への情報提供等に関し、法令等の制限があるもののほかについては、速やかにお出しできるように努めています。決して制限を設けているものではありません。

農業

休耕田の
活用の取り組みは

Q 現在、旭市には休耕している水田がどのくらいあるのか。もし水田が復活できるなら、いろいろと新しい発想で活用の方向を考えてはどうか。

A 市内の休耕田は129ヘクタールあります。市では、耕作放棄地対策協議会を立ち上げ、休耕田に限らず

耕作放棄地（畑含む）の再生利用に取り組んでいます。この協議会では昨年、国の耕作放棄地再生利用対策制度を活用し、荒れた農地を借用して生産を拡大したいという農業者に対して支援

をしています。この制度で昨年、約1.8ヘクタールの耕作放棄地が再生されたところです。今後この制度を活用して、休耕田を含め、耕作放棄地の再生利用を促進していきたいと考えています。

食彩の宿いおか荘

火災及び盗難での
被害状況は

Q 放火及び盗難の詳細についてお聞かせ願いたい。まだ捜査中ということでは聞いています。

A 火災による被害状況ですが、客室307号室とリネン室の2部屋で火災が発生しています。被害額は、建物部分が360万円、備品関係で77万5,800円です。そのうち盗難は、客室307号室からテレビが1台紛

失し、被害額は5万9,800円です。

排水

豪雨時に大利根用水
への排水の考えは

Q 広原地区の冠水地域は3・7ヘクタールだと思

います。例えば100ミリの雨が降ると毎秒38リットルでポンプアップして放流すれば25時間で3・7ヘクタールを大利根用水へ放流できます。これが一番経費もかからなく、こういうこともやるべきではないか。

A 大利根用水へ排水をさせてくれと、公式で市が言った場合に果たしてどうなの



冠水した広原地区の道路

裁判

和解とした理由と
和解金等は

Q 環境シンフォニックが提起した裁判を判決ではなく和解とした理由、和解金、弁護士費用についてお尋ねします。

A 平成22年4月23日の第11回目の弁論において、裁判所から3,500万円の支払いによる和解を勧告されましたが、市はこれに応じることはできないとして期日の続行を求めたものです。

その後、期日を続行して、双方の主張及び証拠提出がほぼ出尽くしたため、平成23年1月21日の第18回目の弁論において、再度裁判所から2,750万円の支払いによる和解を勧告されたものです。

これについては、2度目の勧告は重いものであり、内部及び

弁護士との協議の上、市の経済的な損失もこれが最小限であろうと認識し、本年第1回定例会に和解議案及び賠償のための補正予算を提出したものです。

弁護士費用は、着手金として275万1,000円、成功報酬として516万1,530円の合計791万2,530円です。

教育

飯岡中建設の
スケジュールは

Q 飯岡中学校建設のスケジュールを伺います。

A 飯岡西部地区土地改良事業の進捗と並行して進めていきたいと思っています。本年度は許認可事務である農業振興地域除外申請の事務手続きに入り、農地転用申請・開発許可申請の準備及び実施設計を予定しています。これらの許認可事務を経てから契約事務に入ることに、工事の着手は平成25年3月を予定し、新校舎への移転は平成26年9月ころになると見込んでいます。

建設経済常任委員会

7月4日(月)午前10時より本委員会が開催され、付託された4議案の審査を行いました。

議案第1号平成23年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「土木費の被災者住宅再建資金利子補給事業は、住宅建て替えのための利子補給で250戸を予定しているとのことだが、今回、かなりの被害があった中で、海岸線の方々の申し込み状況はどうなっているのか。」との質疑では、「今議会で補正予算の議決を経たあとに、市民の皆様にお知らせしていく予定である。なお、市内で、半壊以上が1,215戸ぐらいと把握しており、県と同様に、このうちの20パーセントである250戸を予算計上した。」との答弁がありました。

その他の議案についても慎重審査の結果、4議案とも、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、市内の震災復旧状況などを視察しました。



文教福祉常任委員会

7月5日(火)午前10時より本委員会が開催され、付託された4議案の審査を行いました。

議案第9号専決処分の承認についてのうち本委員会所管事項についての審査では「民生施設災害復旧費で、日の出保育所の設計・監理委託料750万円、災害復旧工事費1億5,000万円が組まれているが、場所の移転などの検討はしなかったのか」との質疑では、「別のところに建てようかという議論もありましたが、日の出保育所を設計した方に見てもらったところ、建物には影響なく、土地を直せば大丈夫との意見があった。時間をかけて、協議した結果、建物の下や園庭をボーリング調査し、危険のないようにきちんと修復し、子どもたちを戻すこととした。」との答弁がありました。

その他の議案についても慎重審査の結果、4議案とも、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

続いて、請願第1号義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採択を求める請願、請願第2号国における平成24年度教育予算拡充に関する意見書採択に関する請願の審査では、特に意見等はなく、請願2件とも、全員賛成で、採択と決しました。

続いて陳情第1号、大幅増員と夜勤改善で安全、安心の医療・介護を求める陳情の審査では、「陳

総務常任委員会

7月6日(水)午前10時より本委員会が開催され、付託された6議案の審査を行いました。

議案第1号平成23年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「総務費の庁舎改修事業で旭市消防署飯岡分署を飯岡支所に移設することだが、どこを工事するのか。」との質疑では、「飯岡支所内の職員食堂57平米を分署の司令室として、また隣の部屋を仮眠室として活用するため、工事を実施したいと考えている。」との答弁がありました。

その他の議案についても慎重審査の結果、議案第11号、議案第12号は、賛成多数で、そのほかの議案については、全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決、承認すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、市内の震災復旧状況などを視察しました。

情の内容については、全体的にいいという話であるが、当面のあいだ、中央病院に影響を及ぼす恐れがあるので、今回は見送らせていただきたい。」との意見が出され、賛成多数で、不採択と決しました。

委員会の審査終了後、市内の震災復旧状況などを視察しました。



7月26日に本庁舎3階の議場で、平成23年度子ども議会が開催されました。

一般質問を行ったのは、市内小中学校20校から22名の子ども議員。

議場内には傍聴の子どもたちが22名、2階の傍聴席にも学校関係者などが大勢詰めかけるなど、議場で行われる定例会本番さながらの一般質問の模様を体験しました。

議事進行役は旭市議会の林議長が務め、答弁者には市長をはじめ教育長、各課長が、それぞれの質問に対して答弁にあたりました。

市政に対しての質問では、震災の復旧復興関係や環境問題、福祉対策など多岐にわたり、執行部の答弁に対し再質問が出るなど積極的な議論が行われました。

質問者及び質問内容

■ 佐野啓斗(中央小学校)

- 1 震災ごみの始末について

■ 市川麻央(中央小学校)

- 1 義援金について

■ 石田美優(琴田小学校)

- 1 お年寄りが生きがいをもって生活できる取り組みについて

■ 栗原大征(干潟小学校)

- 1 スクールガードリーダーについて
- 2 ゴミのポイ捨てについて

■ 矢ノ浦悠真(富浦小学校)

- 1 旭市の海岸地域の整備について

■ 上田真由(矢指小学校)

- 1 旭市の今後の復興計画について

■ 平野瑠海(共和小学校)

- 1 じゃぶ池に時計を

■ 川口 諒(豊畑小学校)

- 1 太陽光発電の導入について

■ 嶋田光希(鶴巻小学校)

- 1 震災への協力について

■ 宮内葉捺(滝郷小学校)

- 1 旭市内における、東日本大震災の影響について

■ 向後結衣(嚶鳴小学校)

- 1 拾ったごみを捨てられるごみ箱の設置

■ 藤野永遠(三川小学校)

- 1 障害者に優しい町作りにについて

■ 山口菜々子(飯岡小学校)

- 1 飯岡中学校について

■ 藤城耕陽(中和小学校)

- 1 地域の安全について

■ 大湊七海(萬歳小学校)

- 1 旭市のバリアフリーについて

■ 大久保晴稀(古城小学校)

- 1 旭市の人口増加と小学生の増加について

■ 大橋嗣実(第一中学校)

- 1 旭市の節電への取り組みについて

■ 鈴木拓海(第二中学校)

- 1 旭市の産業復興支援について

■ 片山りか子(第二中学校)

- 1 市で見かける障害者マークについて

■ 鈴木瑠衣(海上中学校)

- 1 旧海上中のゴミの撤去について

■ 齊藤 蓮(飯岡中学校)

- 1 新校舎に生かされる地震・津波対策について
- 2 高台への安全な避難経路と場所の確保について

■ 椎名建人(干潟中学校)

- 1 東日本大震災における旭市の被害と今後の対策について





飯岡小学校入学式

議会のうごき

平成23年2月28日以降
の議会のうごき

〈3月〉

- 旭中央病院附属看護専門学校卒業式
- 平成23年3月東総広域水道企業団議会定例会

〈4月〉

- 干潟町中央保育園入園式
- 平成22年度千葉県自治体病院経営都市議会協議会会計監査学校法人旭鈴木学園あさひこひつじ幼稚園入園式
- 市内小中学校入学式
- 学校法人浪川学園うなかみ幼稚園入園式
- 旭中央病院新本館竣工記念式
- 旭中央病院附属看護専門学校入学式
- 第173回千葉県市議会議長会定例総会
- 平成23年度旭市春のへら鮎釣り大会表彰式
- 旭市民生委員児童委員連絡協議会定期総会

〈5月〉

- 第6回旭市商工会青年部通常総会
- 第6回旭市納税貯蓄組合連合会定期総会
- 旭市遺族会定期総会に出席
- 平成23年度旭市防犯組合連合会総会
- 平成23年度旭市PTA連絡協議会第1回代議員会(総会)
- 旭市観光協会第33回通常総会
- 財団法人旭市福祉協合理事会
- 第42回旭市雇用対策協議会定期総会
- 平成23年度旭市行政連絡事務委嘱書交付式
- 平成23年度旭市区長会定期総会
- 旭市商工会第6回通常総代会
- 全国自治体病院経営都市議会協議会第69回理事会
- 全国自治体病院経営都市議会協議会第39回定期総会

〈6月〉

- 第77回関東市議会議長会定期総会
- 旭市老人クラブ連合会定期総会
- 市内小学校運動会
- 平成23年度旭市春のフォトコンテスト表彰式
- 第87回全国市議会議長会定期総会

議会の傍聴しませんか

第3回定例会は9月7日(水)から行われます。

議会開会中は、議会を傍聴することが出来ます。希望される方は、市役所3階までおいでください。

なお、市役所本庁と各支所ロビー、海上・干潟公民館、飯岡福祉センター、総合体育館のテレビで、本会議の様子は放映しています。

また、市ホームページでは議会ライブ中継をしています。ご利用ください。

詳しくは議会事務局へ

☎ 62・5304
FAX 62・5384

編集後記

3月11日の東日本大震災で旭市では甚大な被害が発生しました。

6月議会は震災被害の復旧のための議案が上程され、すべて可決されました。これから急ピッチで道路や排水などの復旧工事が始まります。

また、被害が軽く国の支援の対象外であった液状化による被災住宅の復旧工事に最大100万円の支援が県から受けられるようになりました。

一般質問は合併後最多の14名の議員が登壇し、旭市の復旧復興について質問・提言がされました。

市はこれらを参考にしながら、まず、被災された方が今後希望を持てる施策を実施されることを願っています。

(委員・島田 和雄)

旭市議会だより編集委員会

委員長 伊藤 房代
副委員長 宮澤 芳雄
委員 島田 和雄
委員 大塚 祐司